

第2章 建設地の状況

第1節 地理

1-1 建設地の地理

建設地は、図 2-1-1 に示すとおり、津市の南西部に位置し、津市役所本庁舎から南西に約 25km（直線距離）の地点にある。

また、図 2-1-2 に示すとおり、建設地は美杉地域の北東部、八手俣川沿いに位置し、建設地周辺は、大部分が山林となっており、住宅等が点在する。

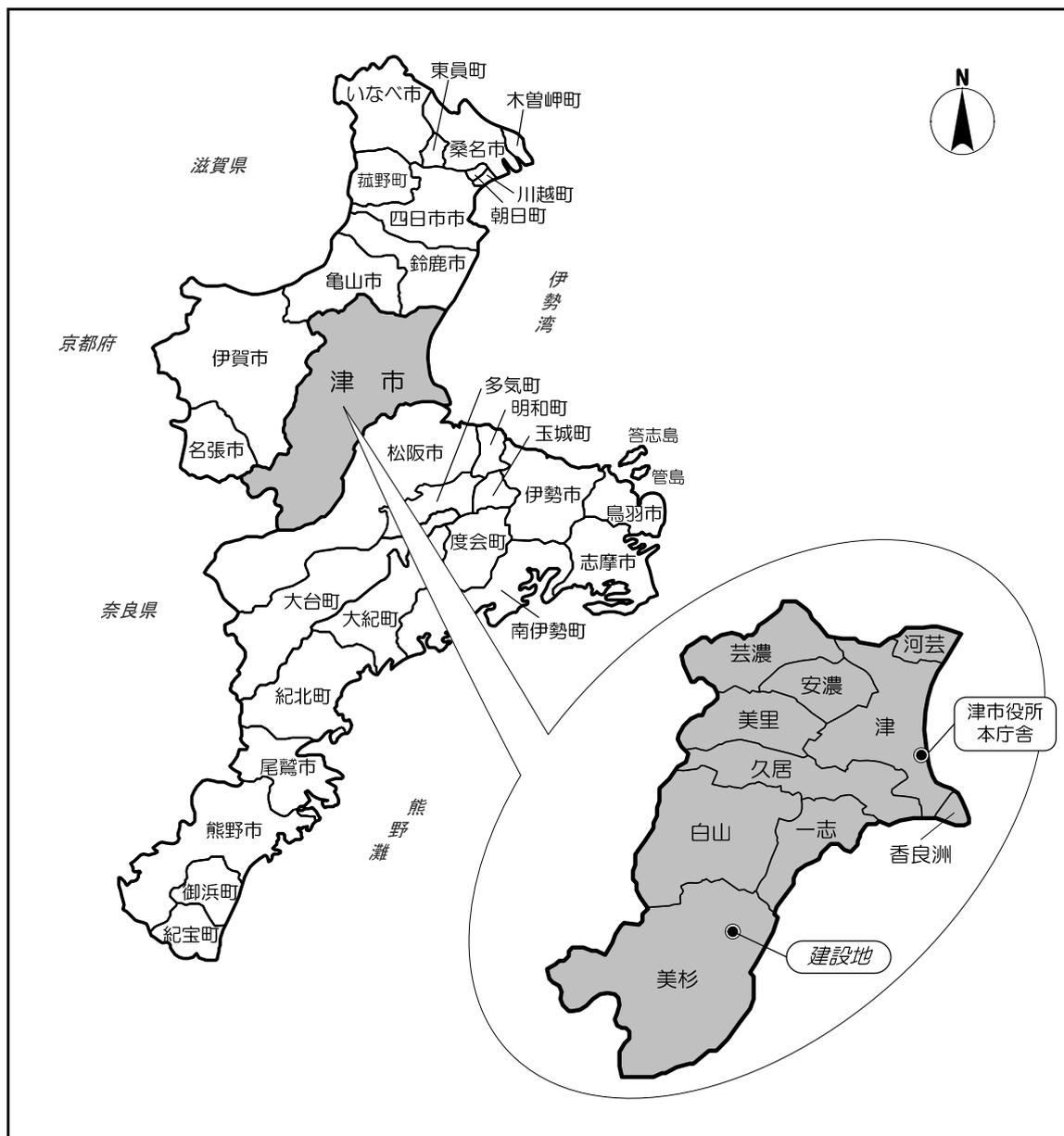


図 2-1-1 建設地の位置

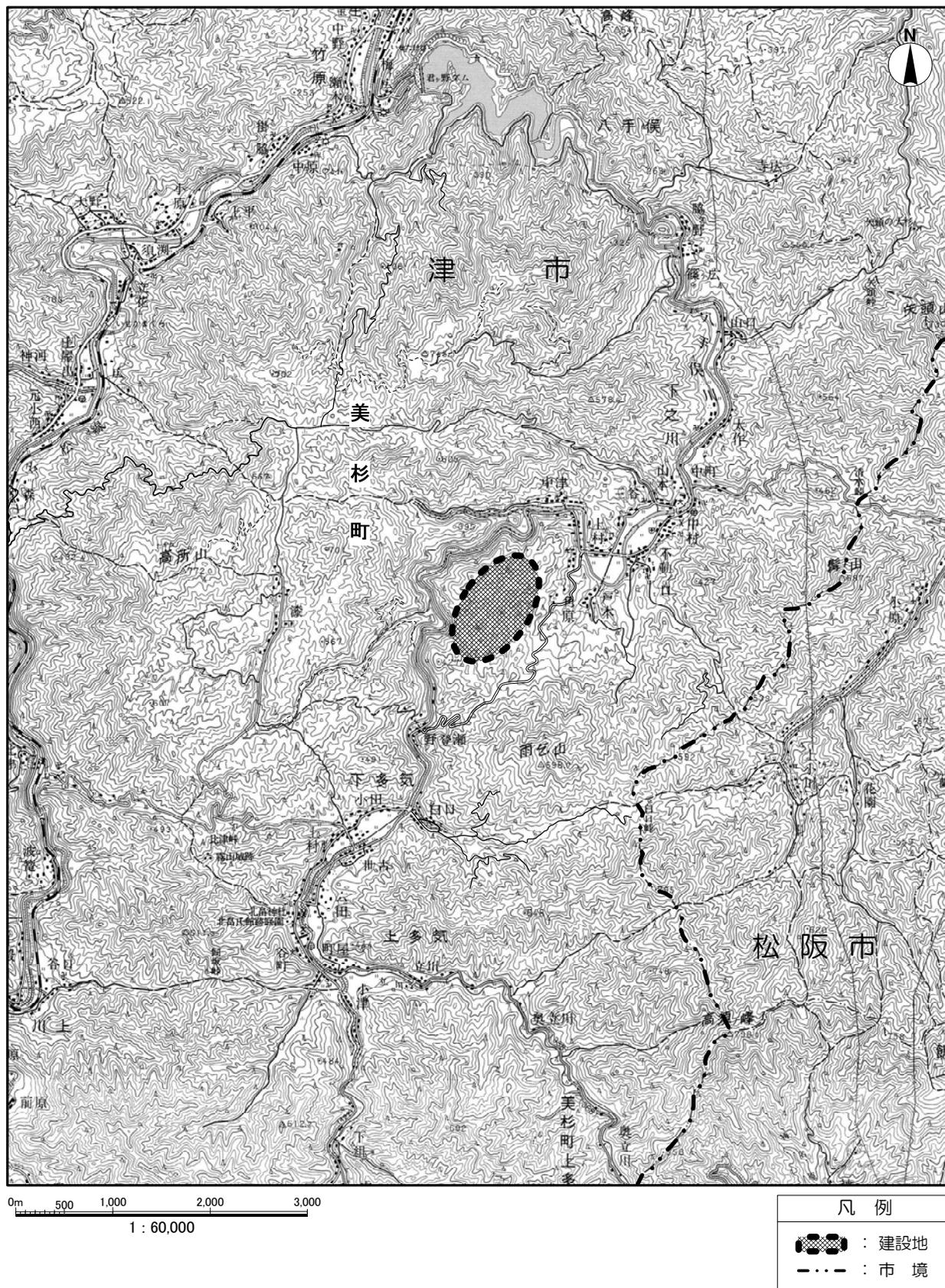


図 2-1-2 建設地の位置

第2節 地形

2-1 建設地の地形

建設地は標高約 300～400m の山間地帯にあり、北側には佐田山（標高 745m）、南側には雨乞山（標高 699m）等がある。（図 2-1-2 参照）。

河川では八手俣川が建設地の南西側から西側、北側を回りこむように東側に向かって流れており、平野部は建設地の北東～東側の八手俣川兩岸部分にわずかに広がっている。

建設地内の地形は、三方を山に囲まれ、谷に沿って南西～北東方向に長い形状である。その谷部には僅かに平地があり、南西側を上流に北東側へ緩やかな勾配で広がる地形となっている。

建設地の主要な地形状況は次頁の写真に示すとおりである。

図 2-2-1 に撮影地点位置図を示す。

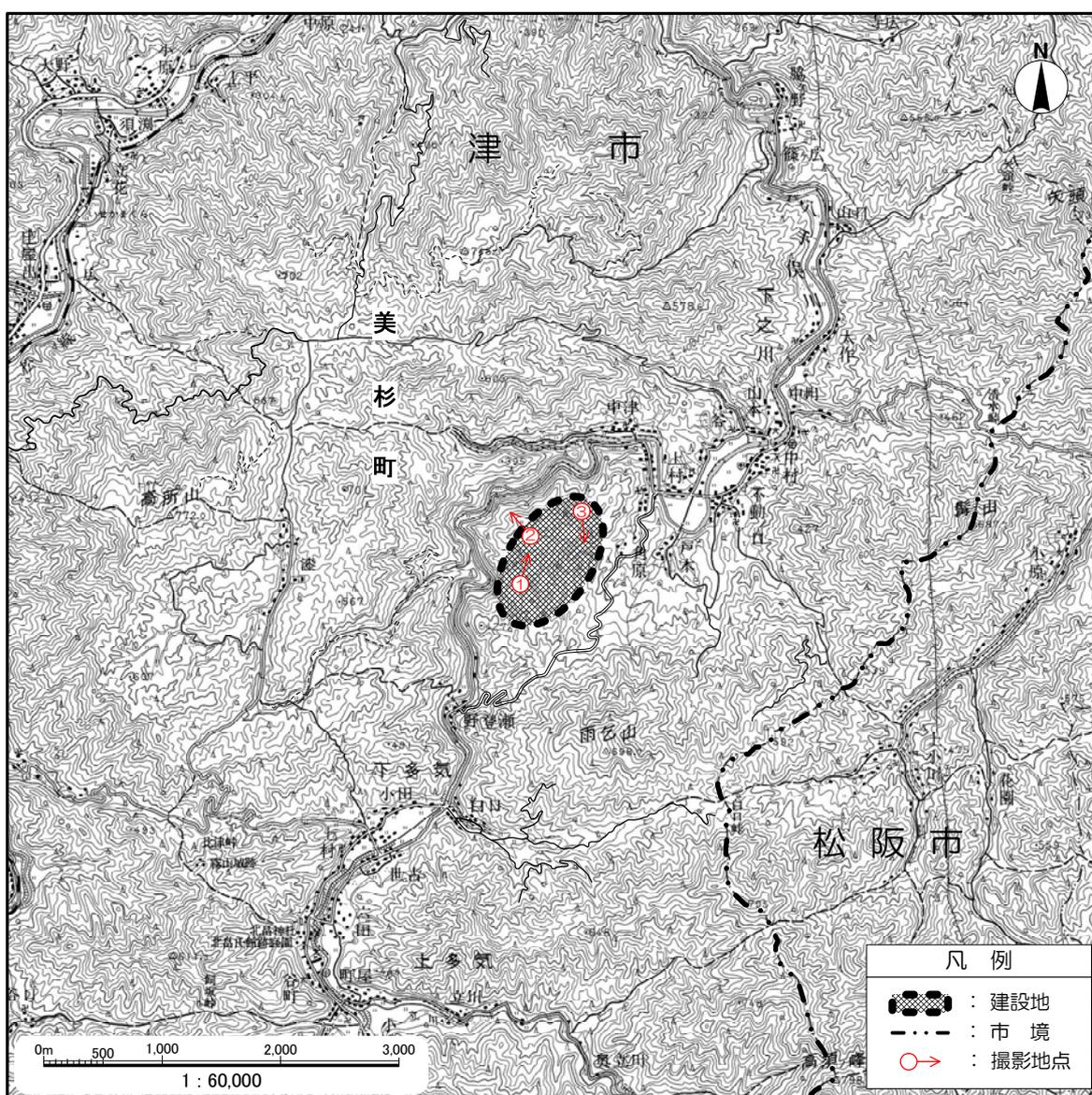


図 2-2-1 撮影地点位置図

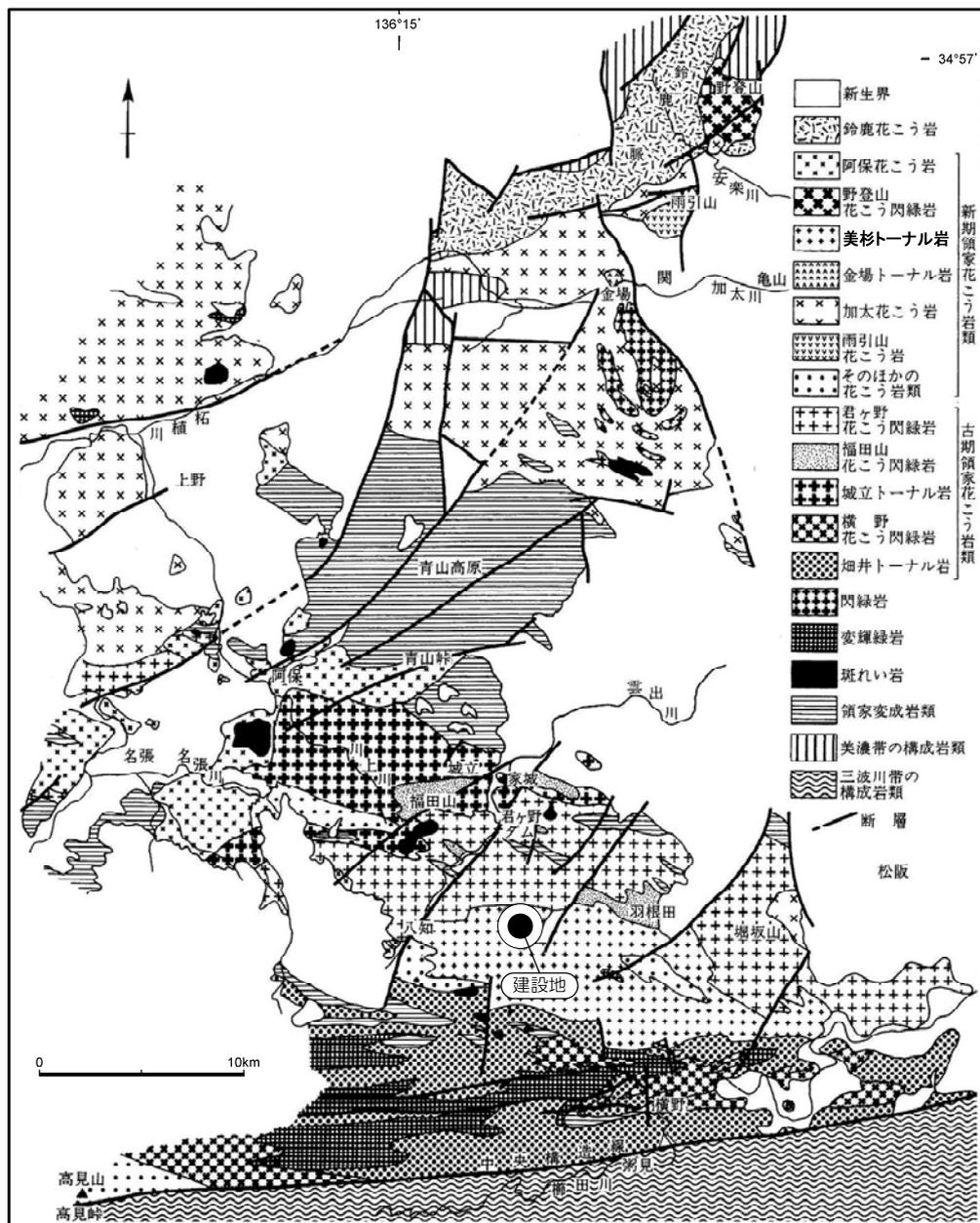
	種別	現地踏査
	地点	津市美杉町下之川
	内容	①南側
	備考	
	種別	現地踏査
	地点	津市美杉町下之川
	内容	②中心部
	備考	
	種別	現地踏査
	地点	津市美杉町下之川
	内容	③北側
	備考	

第3節 地質

3-1 建設地の地質

津市の地質の状況は図 2-3-1 に示すとおりである。

建設地の地質は「美杉トータル岩※」で占められている。建設地内における地質調査結果については、資料編（資料2）に記載する。



出典：「三重県地域の花こう岩類の地質図（沓掛）原図」より作成

図 2-3-1 津市の地質の状況

※ 美杉トータル岩

美杉町八知付近一松阪市南部に、東西約 20km・南北約 7km の岩体を形成している。岩体の西部では塊状の、東部では中粒で片麻状構造をもつトータル岩からなり、長柱状の最大長径 1cm に達する角閃岩とc軸方向に積みかさなった厚さ約 5mm の黒雲母をふくむ。

地質調査結果では、概して表層には軟弱なシルト混じり砂が2m程度あり、その下層には真砂層その下層に基盤岩としてN値50の花崗岩層を確認している。この花崗岩層は地表から約3～9mの位置にある。

水位は、地表から1m以内にあり、非常に高い。

第4節 土地利用

4-1 建設地及びその周辺の土地利用状況

建設地内は、過去には農地として利用されていたが、現在はそのほとんどが植林され、大部分が人工林に占められている。

建設地の周辺では、北東～東側にかけて八手俣川沿いに広がる平野部を中心に、集落及び農地が存在している。

第5節 河川の状況

5-1 建設地周辺の河川状況

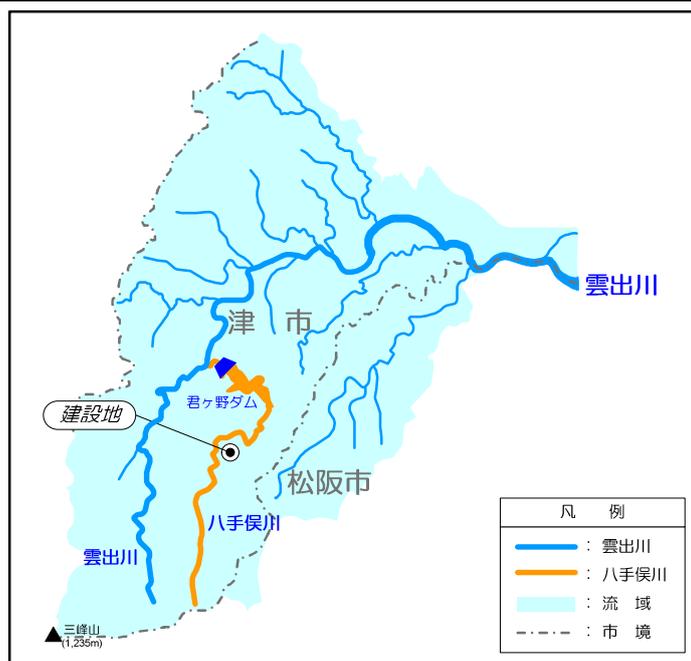
建設地周辺の河川としては、表 2-5-1 及び図 2-5-1 に示すとおり雲出川及び八手俣川がある。

雲出川は、三重県の中心部に位置し、その源を津市と奈良県宇陀郡御杖村の県境をなす布引山脈三峰山に発し、八手俣川等の支川を合わせながら東流し、伊勢平野に出てから、雲出古川を分派して、伊勢湾に注ぐ、幹川流路延長 55km、流域面積 550km²の一級河川である。

また八手俣川は、津市の南端・松阪市との市境付近から北へ向かって流れ、建設地の西～北側を回りこむように通ってから、君ヶ野ダムを経て雲出川へ合流する、河川延長 25km の河川である。

表 2-5-1 建設地周辺の河川

河川種別	水系	河川名	河川延長(m)
一級河川	雲出川	雲出川	54,583
		八手俣川	25,137



出典：「国土交通省中部地方整備局三重河川国道事務所HP」より作成

図 2-5-1 雲出川水系流域図

平成18年度の河川の環境基準達成状況は表2-5-2に示すとおりであり、雲出川の類型指定はA～AA類型となっており、すべての地点において環境基準を達成している状況である。

表2-5-2 建設地周辺の河川の環境基準達成状況

水域名		類型	18年度BOD 年平均值 (mg/L)	基準値 (mg/L)	達成状況
雲出川	上流	AA	0.7	1以下	○
	下流	A	0.6	2以下	○

出典：平成19年版三重県環境白書

建設地は図2-5-2に示すとおり、八手俣川沿いに位置しており、雲出川（本流）から約5kmの地点に位置している。

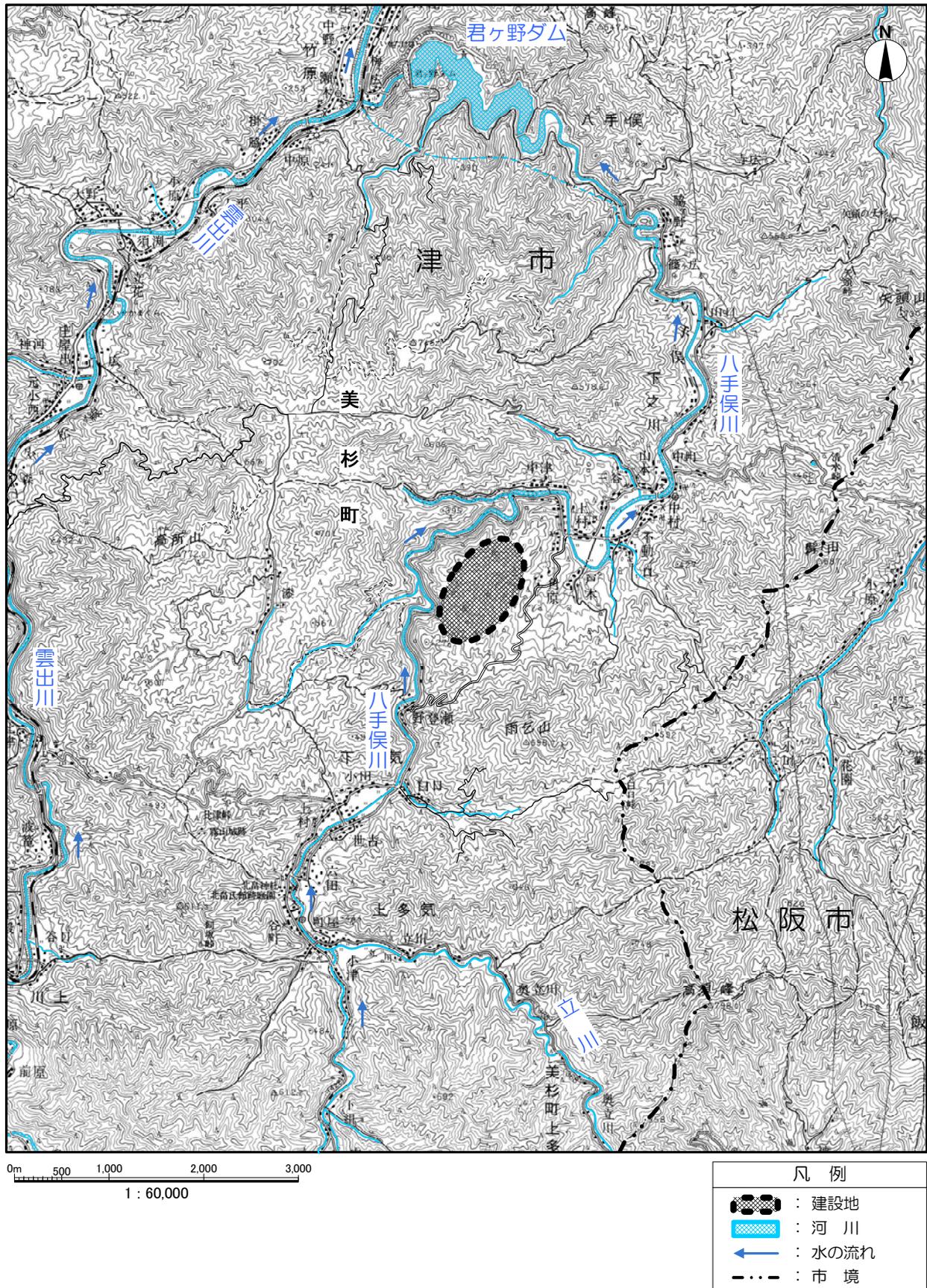


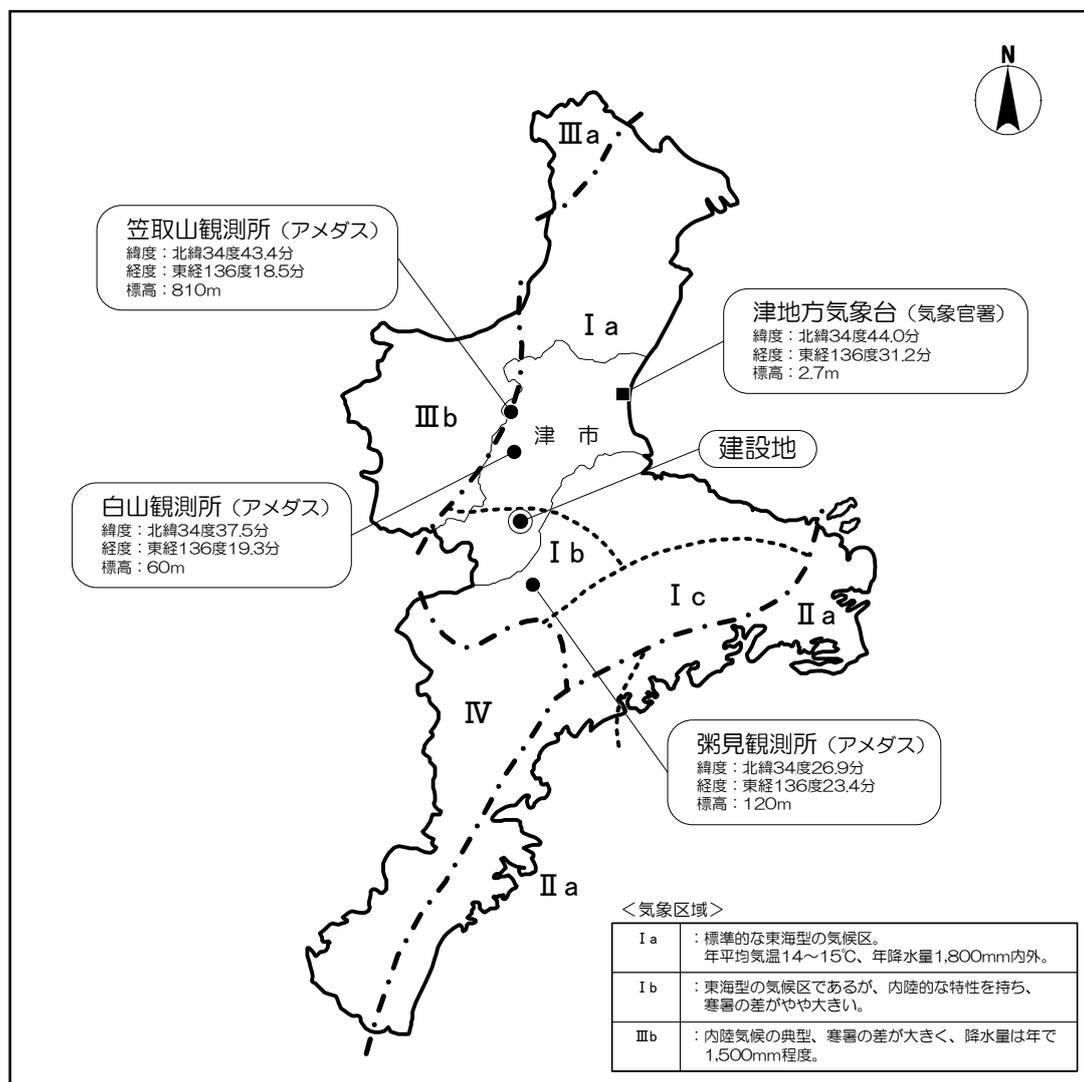
図 2-5-2 建設地周辺の河川の状況

第6節 気象

6-1 津市の気象

津市の気候区分は「三重県自然環境保全調査」(昭和51年3月 三重県)によれば、図2-6-1に示すとおり、I a・I b・III bの3つに分かれており、I a型の北部は夏に雨が多く、冬に晴天が続く東海型の気候区となっており、I b型の西部は寒暑の差がやや大きく内陸的な特性を持っている。

また、北西部の一部に区分されるIII b型は寒暑の差が大きい典型的な内陸気候となっている。



出典：「三重県自然環境保全調査」(昭和51年3月 三重県)より編集

図2-6-1 三重県の気象区分及び観測所の位置

6-2 建設地の気象

建設地の気象区分はI b型に属しているため、同じI b型の粥見観測所の気象状況に類似していると考えられる。

建設地周辺の4箇所の気象台・観測所の平成19年の月別気象状況は表2-6-1及び図2-6-2に示すとおりである。津地方気象台の年間平均気温は16.6℃、年間降水量は1,310.0mm、粥見観測所の平均気温は15.2℃、年間降水量は1,891.0mm、笠取山観測所の年間降水量は1,697.0mm、白山観測所の年間降水量は1,356.0mmとなっている。なお、笠取山観測所及び白山観測所の気温の観測は行われていない。

表2-6-1 建設地周辺の気象状況（平成19年）

観測項目	観測地点	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
平均気温(℃)	津	7.0	8.0	9.3	13.6	18.5	22.7	25.1	28.6	25.6	19.1	12.9	8.8	16.6
	粥見	5.5	6.7	8.4	12.5	17.7	21.6	24.1	26.8	24.2	17.4	11.4	6.6	15.2
	笠取山	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	白山	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
降水量(mm)	津	31.5	62.0	27.5	34.0	125.0	199.0	291.0	100.5	248.5	87.5	23.0	80.5	1,310.0
	粥見	40.0	68.0	27.0	45.0	115.0	220.0	468.0	210.0	384.0	160.0	41.0	113.0	1,891.0
	笠取山	35.0	77.0	49.0	72.0	208.0	261.0	354.0	136.0	222.0	123.0	46.0	114.0	1,697.0
	白山	37.0	73.0	33.0	38.0	150.0	241.0	310.0	103.0	154.0	94.0	22.0	101.0	1,356.0

出典:気象庁資料より作成

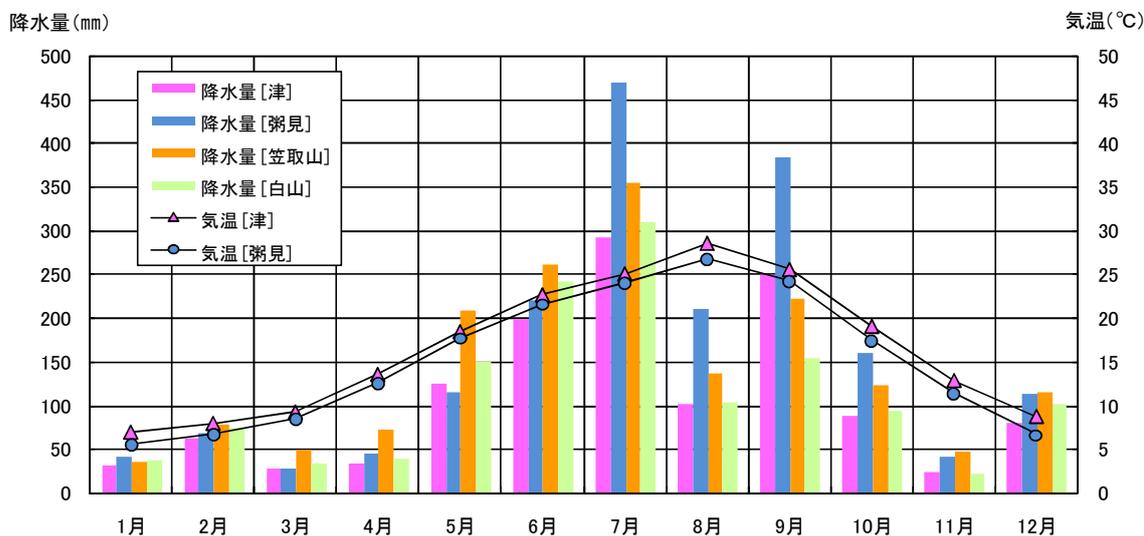


図2-6-2 建設地周辺の気温と降水量（平成19年）

第2章 建設地の状況

津地方気象台及び粥見観測所の平成19年の月別気象概況は表2-6-2及び図2-6-3に示すとおりである。両観測所ともに5月～9月にかけて降水量が多い傾向にある。

表2-6-2 津地方気象台・粥見観測所における月別気象概況（平成19年）

津地方気象台

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
気温(°C)	平均	7.0	8.0	9.3	13.6	18.5	22.7	25.1	28.6	25.6	19.1	12.9	8.8	16.6
	最高	13.2	16.9	21.4	25.3	30.1	33.2	34.5	38.1	34.5	27.6	21.3	16.8	38.1
	最低	0.1	-0.3	0.9	3.2	10.2	16.2	19.8	21.2	16.9	9.6	2.6	1.4	-0.3
降水量(mm)		31.5	62.0	27.5	34.0	125.0	199.0	291.0	100.5	248.5	87.5	23.0	80.5	1,310.0
平均湿度(%)		65	61	59	62	69	77	79	75	79	71	68	67	69
平均風速(m/s)		3.8	4.4	4.5	3.9	4.3	3.8	3.8	3.7	4.1	3.2	3.3	3.7	3.9
最多風向(16方位)		W	NW	NW	NW	WNW	SE	ESE	SE	WNW	ESE	WNW	W	NW,WNW
日照時間(h)		161.4	175.6	211.4	185.5	231.2	190.0	130.6	246.0	150.6	161.1	134.9	163.3	2,141.6

粥見観測所

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
気温(°C)	平均	5.5	6.7	8.4	12.5	17.7	21.6	24.1	26.8	24.2	17.4	11.4	6.6	15.2
	最高	15.0	18.3	22.0	26.1	30.9	33.3	35.3	37.3	34.9	27.2	21.2	17.3	37.3
	最低	-3.4	-5.0	-2.1	-0.7	7.0	12.9	15.4	17.7	14.9	6.3	-0.8	-1.9	-5.0
降水量(mm)		40.0	68.0	27.0	45.0	115.0	220.0	468.0	210.0	384.0	160.0	41.0	113.0	1,891.0
平均湿度(%)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
平均風速(m/s)		1.3	1.5	1.8	1.4	1.4	1.1	0.9	0.9	0.8	0.8	1.1	1.2	1.2
最多風向(16方位)		WNW	W	WNW	WSW	WNW	WNW	WNW	S	W	WNW	W	W	WNW
日照時間(h)		139.0	151.4	191.4	148.0	172.8	99.0	78.7	169.3	105.3	125.9	119.8	122.8	1,623.4

出典：気象庁資料より作成

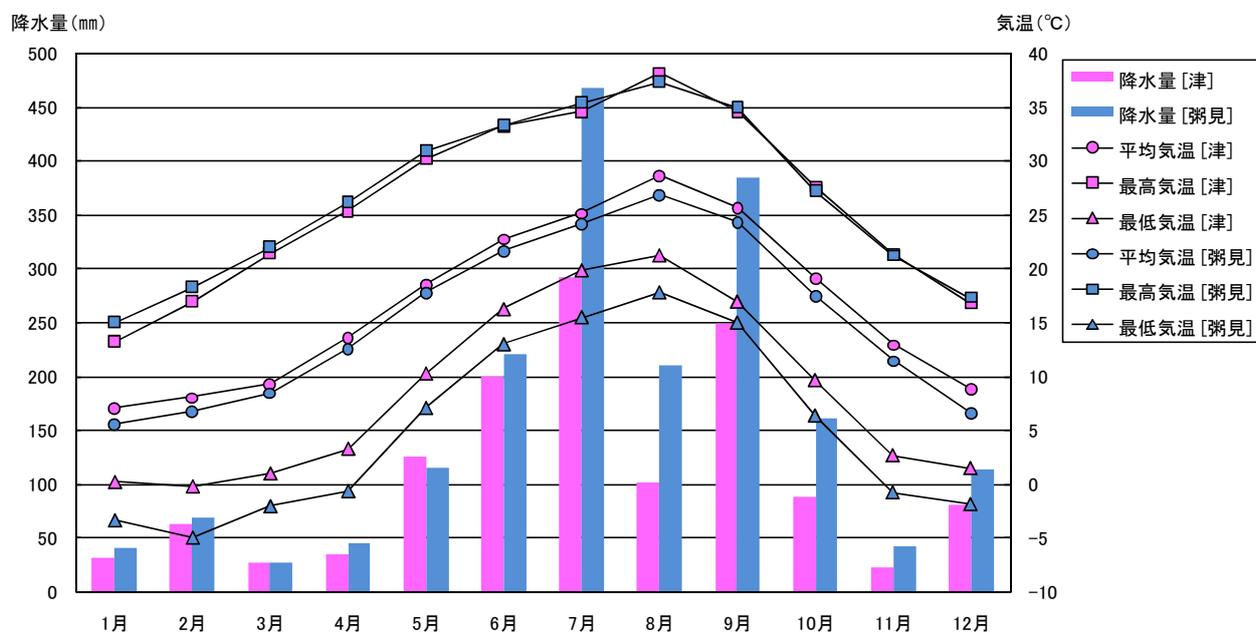


図2-6-3 津地方気象台・粥見観測所における気温と降水量（平成19年）

また津地方気象台及び粥見観測所における平成15～19年の5カ年における年間の気象状況は表2-6-3及び図2-6-4に示すとおりである。津地方気象台の5カ年平均気温は16.3℃、平均降水量は1,493.8mmであり、粥見観測所の5カ年平均気温は15.1℃、平均降水量は2,118.0mmである。

表2-6-3 津地方気象台・粥見観測所の年間の気象状況（平成15～19年）

	観測地点	気温(℃)			降水量(mm)
		平均	最高	最低	
平成15年	津	15.9	37.1	-3.3	1,761.0
	粥見	14.8	35.7	-5.1	2,080.0
平成16年	津	17.0	36.9	-1.7	2,084.5
	粥見	15.7	36.4	-5.1	3,201.0
平成17年	津	16.1	35.9	-1.8	928.0
	粥見	14.9	36.3	-4.5	1,383.0
平成18年	津	16.0	36.7	-3.1	1,385.5
	粥見	14.8	37.0	-6.5	2,035.0
平成19年	津	16.6	38.1	-0.3	1,310.0
	粥見	15.2	37.3	-5.0	1,891.0
平均値	津	16.3	36.9	-2.0	1,493.8
	粥見	15.1	36.5	-5.2	2,118.0

出典：気象庁資料より作成

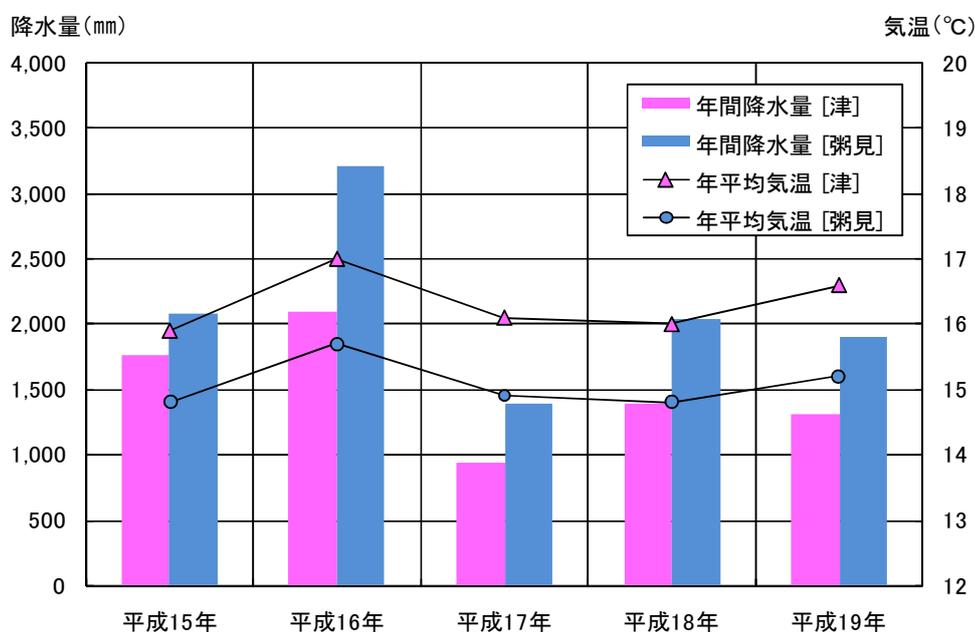


図2-6-4 津地方気象台・粥見観測所の年間の気象状況（平成15～19年）

粥見観測所における過去の日降水量、日最大1時間降水量及び月降水量について、観測史上1～3位までの値とその観測年月日等は表2-6-4に示すとおりである。

表2-6-4 粥見観測所における日降水量・日最大1時間降水量
及び月降水量の観測史上ベスト3

	1位	2位	3位
日降水量 (mm)	498 (2004/9/29)	403 (2000/9/11)	396 (1982/8/1)
日最大1時間降水量 (mm)	79 (2004/9/29)	68 (1993/11/13)	64 (1990/9/19)
月降水量 (mm)	1,113 (1976/9)	962 (1990/9)	854 (2000/9)

出典：気象庁HP

注) 下段 () は観測年月日等を示す

第7節 交通

7-1 建設地周辺における道路状況

建設地周辺の主要道路網は図 2-7-1 に示すとおりであり、国道では三重県伊賀市から三重県多気郡多気町に至る国道 368 号及び滋賀県大津市から三重県北牟婁郡紀北町に至る国道 422 号がある。

また、建設地周辺の主要地方道及び市道としては、八手俣川沿いに主要地方道「一志美杉線」、建設地に沿って北東～南西に市道「多気下之川線」が通っている。

これらの他にも、主要地方道である久居美杉線、松阪青山線、嬉野美杉線が建設地周辺約 5km の範囲を通っている。

「道路交通センサス報告書」による道路交通量の調査結果は表 2-7-1 に示すとおりである。(観測地点は図 2-7-1 に示した A・B・C の 3 地点である。)

表 2-7-1 建設地周辺の道路交通量

記号	路線名	観測地点名	平日 24 時間交通量(台/日)			
			乗用車	バス	貨物車	合計
A	主要地方道 松阪青山線	津市美杉町竹原	586	17	618	1,221
B	主要地方道 一志美杉線	津市美杉町中村	547	25	407	979
C	主要地方道 嬉野美杉線	津市美杉町上多気	508	19	438	965

出典：平成 17 年度道路交通センサス報告書（平成 19 年 3 月 国土交通省中部地方整備局）

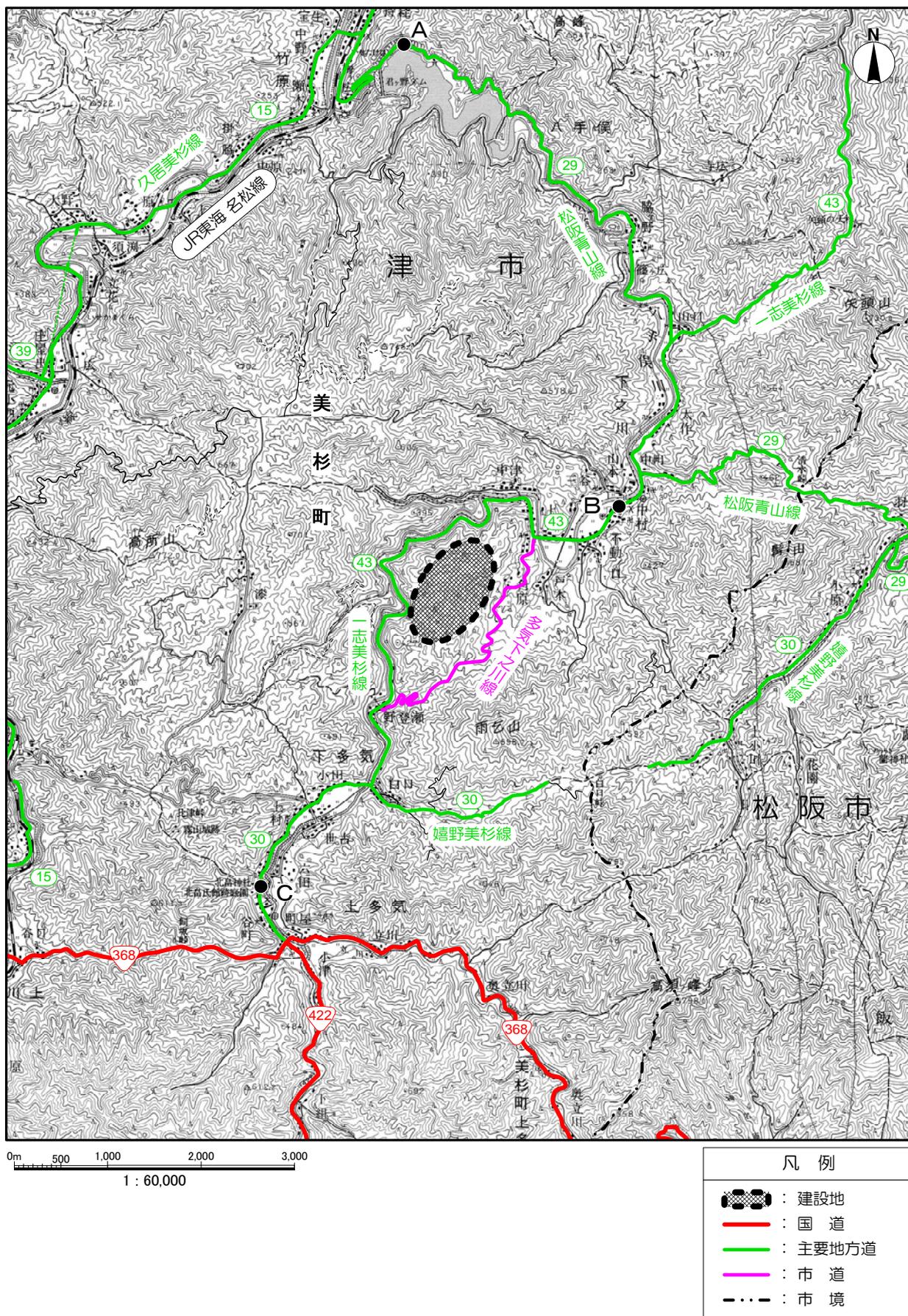


図 2-7-1 主要道路網

第8節 法規制等

8-1 建設地の開発に伴う土地利用上の法規制等の状況

新最終処分場等を整備するにあたり、土地利用上、主に適用される法令を表2-8-1に示す。

表2-8-1 土地利用に関する法令及び適用区域並びに建設地における適用の有無

区分	関係法令	適用区域	適用の有無
土地利用計画 関係法令	都市計画法	市街化区域、用途区域、風致地区等	—
	文化財保護法	史跡・名勝・天然記念物	—
	農業振興地域の整備に関する法律	農用地区域、農業振興地域	—
	生産緑地法	生産緑地地区	—
自然環境保全 関係法令	自然公園法	国立公園、国定公園、 県立自然公園（普通地域）	○
	自然環境保全法	自然環境保全地域、郷土環境保全地域、緑地環境保全地域	—
	都市緑地保全法	緑地保全地域	—
	森林法	国有林、 森林計画区に係る民有林 、保安林	○
	鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律	鳥獣保護区、特別保護区	—
	農用地の土壌の汚染防止等に関する法律	農用地土壌汚染対策地域	—
防災関係法令	河川法	河川区域	—
	水源地域対策特別措置法	水源地域	—
	砂防法	砂防指定地	—
	地すべり等防止法	地すべり防止区域	—
	急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律	急傾斜地崩壊危険区域	—
	宅地造成等規制法	宅地造成工事規制区域	—

出典) 廃棄物最終処分場整備の計画・設計要領 (社) 全国都市清掃会議

注)1 **太字**は、建設地が該当する区域を示す。

注)2 上記の法律には関係する施行令、施行規則、施行細則、条例、条例施行規則等を含む。

凡例) ○：適用される —：適用されない

建設地においては、2法令について適用をうける区域に該当する。

表2-8-2に、その2法令に係る必要な許可、届出等について整理する。

表 2-8-2 必要な許可、届出申請等のまとめ

関係法令	内 容
自然公園法	工作物新築のための協議及び届出
森林法	林地開発に係る協議（地方自治体が行う開発の場合には届出を行うことにより適用除外となる。）

8-2 その他施設整備基本計画策定にあたり把握が必要となる事項

本項では、今後、施設整備にあたって必要な許可、届出申請等について整理する。

施設整備にあたって必要となる主な許可、届出申請等は、表 2-8-3 に示すとおりであり、開発面積や施設等の規模により適用を受けることとなる。

表 2-8-3 施設整備にあたり必要な主な許可、届出申請等

関係法令	内 容
建築基準法	建築確認申請（計画通知）
三重県景観条例	確認・届出
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	生活環境影響調査 一般廃棄物処理施設設置届
三重県生活環境の保全に関する条例	騒音規制法及び振動規制法に基づく特定建設作業 騒音規制法及び振動規制法に基づく特定施設設置届